



TASAR WORLD CHAMPIONSHIPS 2026 IN KUNIGAMI

6th-12th June 2026

SAILING INSTRUCTIONS

Version 08 June 2026

Change Log

Amendment 01: 18.1, 18.3 change, 1.4 add

Amendment 02: 22.1 change

Amendment 03: 12, 18.3 change

Organizing Authority (OA): 日本テザー協会、(公財) 日本セーリング連盟、
2026年テザー級世界選手権実行委員会、国頭村

[NP]は、この規則の違反を申し立てる艇による抗議は無効であることを意味する。これは RRS 60.1 を変更している。

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

1. 規則

- 1.1. 本大会は、セーリング競技規則(以下「RRS」という)に定義された規則を適用する。
- 1.2. RRS 44.2 において、最初の文の後に挿入する：ただし、マーク 1a が設定されている場合、艇はマーク 1a のゾーンから離れるまで、マーク 1 のゾーンまたはマーク 1 とマーク 1a 間のレグでのインシデントに関するペナルティーの履行を延期することができる。
- 1.3. RRS 60.4(a)(2)の英語原文を以下の通り変更する。
(2) if it alleges a breach of a rule of Part 2 or rule 31 and is from a boat that was not involved in, and did not see, the incident, or
- 1.4. RRS G1.3(a)は適用されない。
- 1.5. 付則 T を適用する。
- 1.6. SI は NoR よりも優先する。これは RRS 63.5(C)を変更している。
- 1.7. 言語間に矛盾がある場合、英語の SI が優先される。

2. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日最初の予告信号の 90 分以前に掲示される。ただし、レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに掲示される。

3. [DP] [NP] 識別・カメラや電子機器

- 3.1. 艇はバウナンバーを表示しなければならない。
- 3.2. 艇は OA により選択され支給された電子機器を艇の指定された位置に搭載するよう要求されることがある。艇はこの要求に従わなければならない。

4. コミュニケーション

- 4.1. 公式掲示板はオンラインのみとし、大会ウェブサイトで利用できる。
公式掲示板 URL : <https://www.racingrulesofsailing.org/documents/13712/event>
- 4.2. [DP]緊急の場合、またはレース委員会が提供する機器を用いることを除き、艇はレース中無線送信もすべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

5. 行動規範

- 5.1. [DP] 競技者および支援者は、レガッタオフィシャルズからの合理的な要求に応じなければならない。
- 5.2. [DP] 競技者および支援者は、OA によって提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

6. 陸上に発せられる信号

- 6.1. 陸上で発せられる信号は、ビーチインフォメーションデスク前に掲揚される。
- 6.2. 陸上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1 分」を「60 分以降」と置き換える。

7. 大会フォーマット

- 1 フリートで行う

8. スケジュール

8.1. レース日程

日付	時刻	レース数	
Day0 6月4日(木)	受付登録、計測 10:00 -16:00		
Day1 6月5日(金)	受付登録、計測 10:00 -16:00		
Day2 6月6日(土)	受付登録、計測 開会式 プラクティスレース 予告信号 ウェルカムパーティー	10:00 -11:00 12:00 -13:00 15:00 19:00 予定	
Day3 6月7日(日)	メジャラーミーティング WTC 総会 レース	8:00-9:00 9:00-10:00 12:00 最初の予告信号	3
Day4 6月8日(月)	レース	12:00 最初の予告信号	3
Day5 6月9日(火)	レース ソーシャルイベント	12:00 最初の予告信号 19:00 予定	3
Day6 6月10日(水)	予備日		
Day7 6月11日(木)	レース	12:00 最初の予告信号	3
Day8 6月12日(金)	レース 表彰式	11:00 最初の予告信号 19:00 予定	2

- 8.2. レースコンディション等によって、各日程のレース数を変更する場合がある。
- 8.3. 予備日に関して、レースコンディション等によって、レースを実施する可能性がある。
- 8.4. 引き続き行うレースのための予告信号はできるだけ速やかに発せられる。
- 8.5. 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分前に、音響1声とともにオレンジ色のスタートライン旗を掲揚する。
- 8.6. 最終日の予告信号は14:30より後には発しない。

9. クラス旗

クラス旗は白地に赤色のTasar旗とする。

10. コース・エリア

コース・エリアの場所をSI Addendum Aに示す。

11. コース

- 11.1. SI Addendum Bの見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

11.2. 予告信号以前に、レース委員会信号船は、最初のレグのおおよそのコンパス方位および距離を掲示する。

12. マーク

マーク、または関連したゲートマークは、次の通りとする。

Mark	Mark	Marks	Starting Line	Finishing Line
1	1a	2,3 4s,4p	Mark	Mark
Orange robotic mark	Pink thin cylinder	Red robotic mark	Race committee signal vessel and Race committee vessel	Race committee vessel and Red robotic mark with blue ribbon

13. スタート

13.1. レースは RRS 26 を用いて、予告信号をスタート信号の 5 分前とし、スタートさせる。

13.2. スタート・ラインは、スタート・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。

13.3. スタート信号の 5 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は RRS A5 を変更している。

14. コースの次のレグの変更

次のマークの位置を変更する場合、レース委員会は可能な限り速やかに当該マークを移動する。

15. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側の間とする。

16. ペナルティー方式

16.1. RRS 42 違反に対し、付則 P を適用する。

16.2. RRS P2.3 は適用されず、RRS P2.2 を変更し、2 回目以降のすべてのペナルティーに適用する。

17. タイムリミットと目標時間

マーク 1 のタイム・リミット、レース・タイム・リミット (RRS 35 参照) およびフィニッシュ・ウインドウを下表に示す。

Race Time Limit	Mark 1 Time Limit	Finish Window	Target Time
90	25	20	50

17.1. マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。

17.2. フィニッシュ・ウインドウとは、最初の艇がコースを帆走した後、艇がフィニッシュする時間のことである。スタートしたが、フィニッシュ・ウインドウ内にコースの帆走ができず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、また救済を与えられなかった艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった」(DNF) と記録される。これは、RRS 35、A 5.1、A 5.2 を変更している。

17.3. ターゲットタイム通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 61.4(b)(1) を変更している。

18. 審問の要求

18.1. 抗議または救済や審問再開の要求は下記 web サイトのオンラインフォーム ["Hearing Request \(抗議書 \(審問リクエスト\) フォーム\)"](#) にて、適切な制限時間内に提出しなければならない。ただし、オンライ

ンフォームにより提出することが困難な場合には、**ビーチインフォメーションデスク前のプロテスト事務局**に持参して提出することができる。

- 18.2. **抗議締切り時刻**はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 75 分とする。ただし、この時刻はプロテスト委員会の裁量により延長することがある。時刻は公式掲示板に掲示される。
- 18.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、**抗議締切り時刻**後 15 分以内に**通告を掲示する**。審問は **Notice 05** で案内されている**“Room 112 Protest room”**にて公式掲示板に**掲示した時刻**に始められる。
- 18.4. 委員会による抗議を RRS 60.2(d)に基づき伝えるために掲示する。
- 18.5. RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた**艇のリストを掲示する**。
- 18.6. RRS 63.5(d) に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。
- 18.7. クラスルールまたは [DP]とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティーは、国際ナショナルジュリーの裁量でペナルティーが決定される。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、**公式掲示板**に掲示される。
- 18.8. [SP]印の規則の違反と関連するペナルティーのガイドラインは、**公式掲示板**に掲示され、得点記録の略語は STP とする。レース委員会は、ペナルティーが不適切であると考えたとき、艇を抗議することがある。この項は RRS A5、A10 を変更している。
- 18.9. 得点照会において特定されたインシデントに関する救済要求は、次の場合、締切り時刻を満たしているものとする
 - 18.9.1. 得点照会が RRS 61.2(b)に規定された締切時刻までに提出され、かつ
 - 18.9.2. 救済要求が、得点照会に対する回答が通知されたあと常識的にできるだけ速やかに提出された場合。回答はオンライン・システムによって通知される。この項は RRS 61.2 を変更している

19. 得点

- 19.1. 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、下記 web サイトのオンラインフォーム**“Scoring Inquiry (成績照会のフォーム)”**にてレース委員会に提出する事で得点及び、成績の訂正を要請する事が出来る。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、レースセクレタリーオフィスに持参して提出することができる。
- 19.2. シリーズの成立には、3 レースの得点が記録される必要がある。
- 19.3. 完了したレースが 5 レース未満だった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 19.4. 完了したレースが 5 から 8 レースだった場合、艇のシリーズ得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 19.5. 完了したレースが 9 レース以上だった場合、艇のシリーズ得点は、最も悪い方から 2 つの得点を除外したレースの得点の合計とする。

20. [DP] [NP]安全規定

20.1. チェックアウトチェックイン

- 20.1.1. **[SP]** レースに参加しようとする競技者は、出艇前にビーチインフォメーションデスクにて「出艇申告書」にサインしなければならない。また、レースに参加 (出艇) しない艇は、その日の予告信号予定時刻の 30 分前までに「DNC/RET 申告書」に競技者若しくは支援者(代理)が署名しなければならない。
- 20.1.2. **[SP]** 帰着した競技者は、抗議締切り時間内にビーチインフォメーションデスクにて「帰着申告書」にサインしなければならない。

- 20.1.3. [DP]海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会船にその旨を伝えること。また帰着後、出来るだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 20.2. [DP] レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

21. [DP] 乗員の交代と装備の交換

- 21.1. 競技者の交代はレース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。また、レース公示の制限を遵守しなければならない。
- 21.2. 損傷または紛失した装備の交換はテクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会にテクニカル委員会に行われなければならない。

22. [DP] 装備と計測のチェック

- 22.1. [NP]艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。
- 22.2. 水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示された場合、従わなければならない。

23. 運営船の識別

運営船の標識は次の通りである。

Boat	Flag description
レース委員会	ピンク地に 赤色で " RC "
プロテスト委員会	黒地に 白色で " JURY "
メディア	青地に 白色で "MEDIA"
VIP	水色地に白色で "VIP"

24. ゴミの処分

ごみは支援艇またはレース委員会船・プロテスト委員会船に渡してもよい。

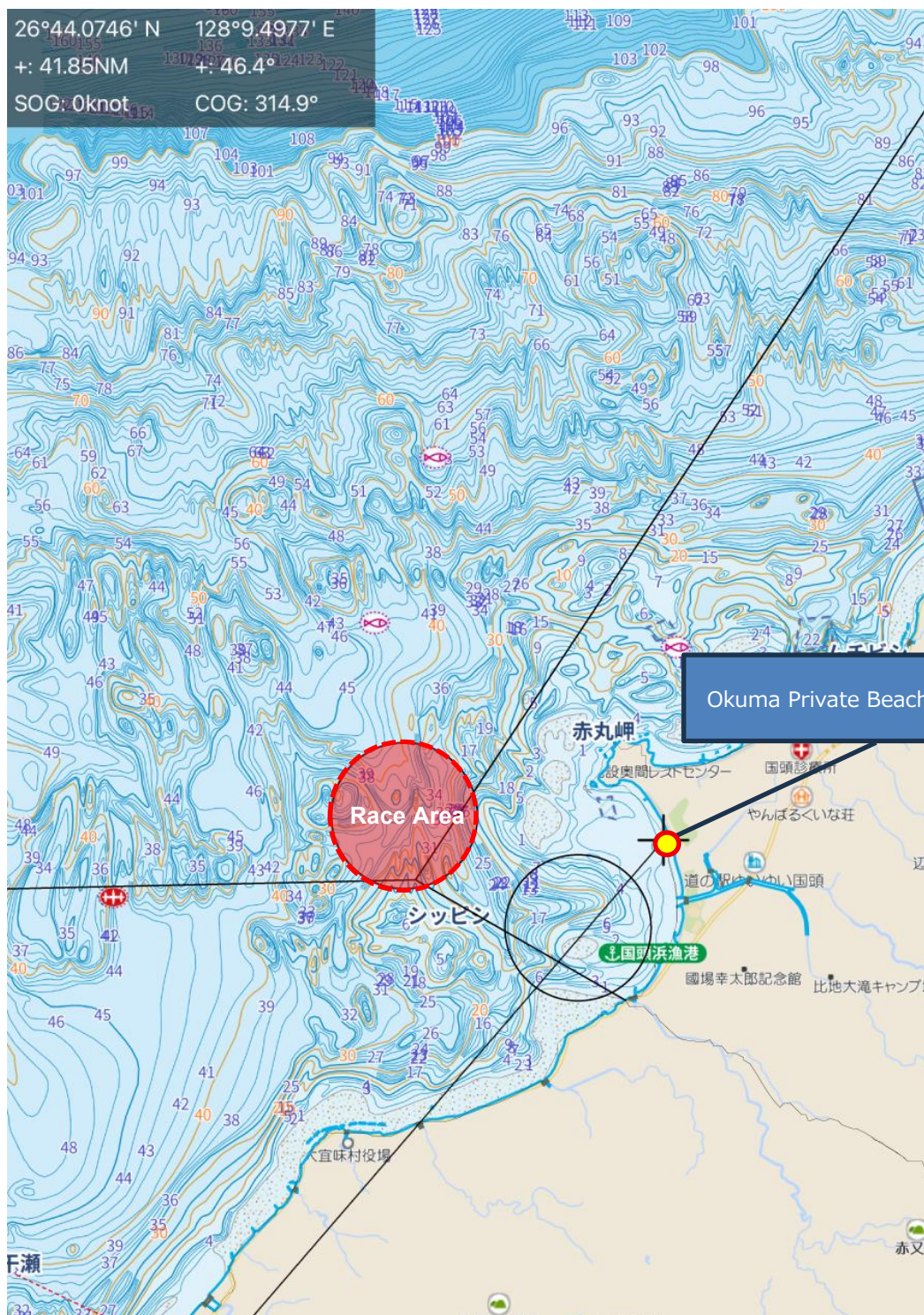
25. 停泊

艇は、ハーバーにある間、指定された場所に保管しなければならない。

26. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

SI Addendum B COURSE AREAS



SI Addendum B COURSE ILLUSTRATION

